

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群	
	対象学科・専攻	情報工学科	
システム工学特論Ⅰ (System Engineering TopicsⅠ)	担当教員	新徳 健 (Shintoku, Takeshi)	
	教員室	情報工学科棟4階 (TEL: 42-9093)	
	E-Mail	shintoku@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義Ⅰ] / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (80分)] × 15回		
[本科目の目標] ヒューマンインタフェースの考え方の基礎について理解する。ヒューマンインタフェースは人と機器、あるいは情報機器を介した人と人との関わりを支援する技術に関する学問である。			
[本科目の位置付け] ヒューマンインタフェースは工学だけでなく、その他の広い分野に関連のある学問である。柔軟な発想力を持って臨むことが必要とされる。			
[学習上の留意点] 講義の内容をよく理解するために、毎回、配布プリント等を参考に、80分以上の自学自習が必要である。疑問点があれば、その都度質問すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ヒューマンインタフェースの概要	2	<input type="checkbox"/> ヒューマンインタフェースの原理と定義について説明できる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく
2. 人間の特性	8	<input type="checkbox"/> 人の身体特性、生理特性、認知特性と感性について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
3. ヒューマンエラー	2	<input type="checkbox"/> ヒューマンエラーとエラー解析について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
4. 入出力インタフェース	6	<input type="checkbox"/> 入出力機器とのインタラクションについて説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
— 前期中間試験 —		授業項目1～3について達成度を確認する	
5. インタラクションスタイル	3	<input type="checkbox"/> インタラクションのスタイルとその特徴について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
6. インタフェースのデザインと評価	6	<input type="checkbox"/> インタフェースのデザインの指針、デザイン手法、評価手法について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
7. グループインタラクション	1	<input type="checkbox"/> グループウェアの概念とモデル化について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
— 前期期末試験 —		授業項目1～7について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る	
[教科書] なし			
[参考書・補助教材] 必要な時は、その都度担当教員が準備し、配布する			
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績(80%) + 小テスト・提出物(20%) - 授業態度(40%)			
[本科(準学士課程)の学習教育目標との関連] 3-c			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-3			
[JABEEとの関連] (d)(2)a)			

Memo
